

予算審査特別委員会 における各会派討論

◎会派清新

長引くコロナの影響により市税の大幅な減収が見込まれる中、着実な成果を挙げるふるさと納税事業をより充実させるため、首都圏などでの積極的なPRの推進に加え、魅力的な返礼品の開発などにより、一層の歳入確保に努められたい。滝の川斎苑や農村環境改善センターの工事が完了し、新年度は大規模事業が減少する一方で、必要なコロナ対策費用が盛り込まれた。スムーズなワクチン接種の実施と地域経済の回復、市民の安心安全を最優先とした執行を希望する。

コロナの影響を受け、病院事業は大変厳しい経営を強いられているが、医療職員の充実には欠くことができない。看護師の離職防止、さらに就学支援、高等看護学院の建て替えなどにより、未来を担う看護師の確保に努めるとともに、市と一体となった取り組みにより経営改善をされることを期待する。

◎新政会

他自治体病院が医師確保に苦慮する中、市立病院で11名もの医師などを確保したことを評価する。

市政の執行に当たっては、ふるさと納税でのポータルサイトの活用や細やかなPR活動および魅力的な返礼品の開発、國學院大學北海道短期大学部との連携強化、特殊詐欺などの消費者被害対策、敬老特別乗車証の安

定的な維持、コロナ禍による高齢者へのきめ細やかな対応、ワクチン接種などの各種コロナ対策、農村環境改善センターの運営の推進、滝川ふれ愛の里やキャンプ場などの外客誘致施策、道の駅たきかわの魅力アップ施策のほか、新規事業の脳ドック事業、市営住宅指定管理者との一層の連携強化、第8期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の着実な実行、長期的視点にたった計画的かつ効率的な下水道施設の更新などを望む。

◎会派みどり

令和3年度の市政の執行に当たり、ふるさと納税については今後も首都圏などでのPR活動や新たなポータルサイトの活用の推進と併せ関連経費の削減のほか、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計においては、健全経営のバランスに考慮した各種施策の積極的かつ確実な推進に努めるよう望む。また、病院事業では、昨年からのコロナウイルス感染症による市民の受診控えなどが影響し、医業収益は依然として厳しい状況にあるが、基幹病院として市民の利用を促進するとともに経営の安定化に向け、市立病院経営改善計画に掲げられた重点取組テーマの4項目を確実に実施することを期待する。

◎公明党

令和2年度のふるさと納税は

多額の寄付をいただく結果となったが、良好な時にこそ現状分析を行い、新たな商品開発に生かしていただくとともにコロナワクチン接種を希望するすべての人が受けられるよう取り組むことを求める。

高齢者を含む一般のコロナワクチン接種では、市立病院と民間医療機関との連携を密にすることが求められるが、市立病院でワクチン接種を実施できない場合には、他の支援ができることを市民に明確にすべきである。

介護保険については、地域包括支援センターに相談することができずに老々介護、認々介護の状態に陥ってしまっている世帯がないかを今一度、ネットワークを張り巡らせながら総点検していただくことを要望する。

◎日本共産党

国民健康保険については加入者負担を増やすことなく市民の健康を守り、また予防活動をさらに進めること、公営住宅については団地再編事業の適切な実施に努めること、介護保険については単身高齢者が増え、身の回りの支援が今後さらに必要となることが予想されることから成年後見制度の利用を含めた多様なニーズに沿った事業を展開すること、病院事業では看護師対策での成果を踏まえ、引き続き患者目線にたった病院経営の改善に取り組むことを要望する。

なお、土地区画整理事業については今回は反対しないが、整理された土地の活用など課題は山積していることからその解決に向け議論を重ね、市民が納得できる事業を進めるよう要望する。